

富士市新環境クリーンセンター  
建設工事



施設概要

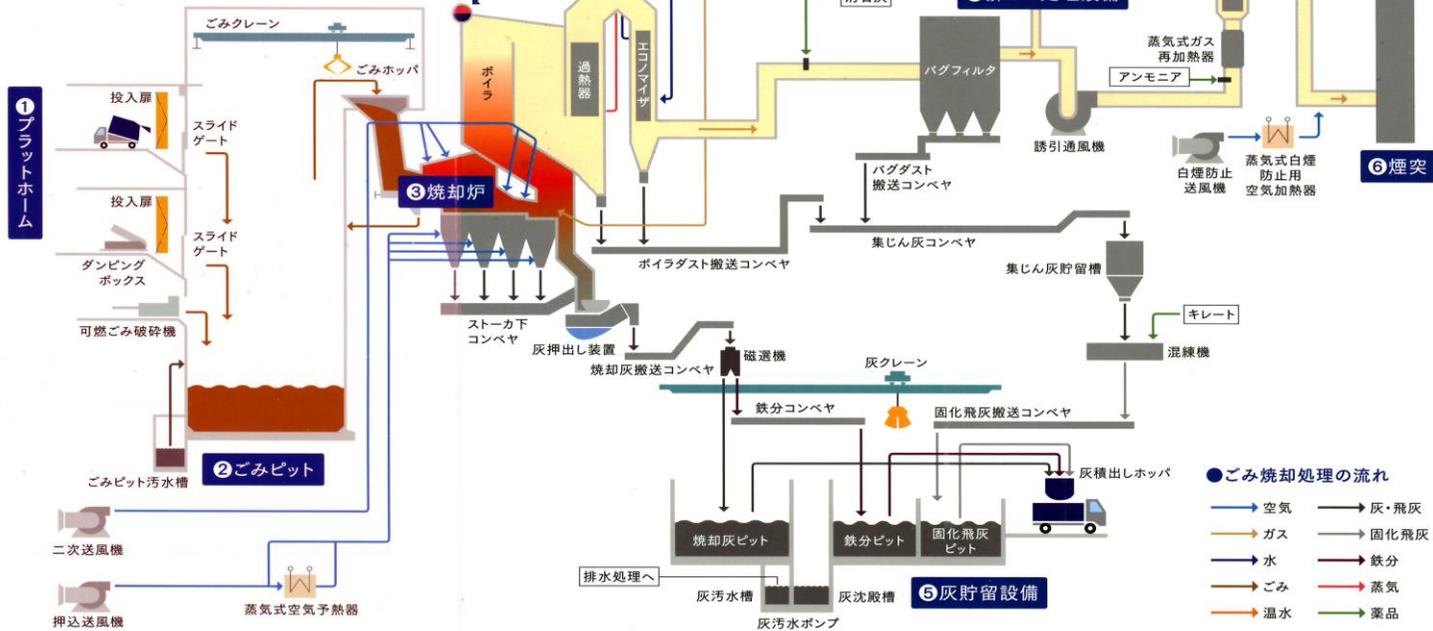
ごみ焼却能力	250t/日(125t/日×2炉) 連続運転式ストーカ焼却炉	項目	自主排出基準
焼却処理対象物	可燃ごみ、尿汚泥、下水汚泥、他	ばいじん	0.01g/m <sup>3</sup> N
破砕能力	2.72t/5h(平均)	塩化水素	40ppm
破砕処理対象物	剪定枝	硫酸化合物	20ppm
		窒素化合物	50ppm
		ダイオキシン類	0.01ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
		水銀	0.03mg/m <sup>3</sup> N

ごみ焼却施設

少ない空気量で完全燃焼させることができる並行流焼却炉の採用により、安定した燃焼を実施します。また、高度な排ガス処理システムの導入で、有害物質の排出の低減を実現し、安全、安心の焼却処理を行います。

構成する主要設備

- 1 プラットホーム**  
収集されたごみは計量機で車両ごと計量し、ごみピットに投入します。
- 2 ごみピット**  
ごみを一時的に貯留します。クレーンで攪拌し、均質な状態に整えます。
- 3 焼却炉**  
ごみを高温で焼却処理します。高温で焼却することにより、ごみは熱分解され、排ガスと焼却残さ(焼却灰、飛灰)に分かれます。
- 4 排ガス処理設備**  
ごみの焼却により発生する排ガスの中に含まれる、有害物質を除去します。
- 5 灰貯留設備**  
焼却残さを貯留し、搬出用車両に積み込みます。
- 6 煙突**  
浄化した排ガスを大気へ放出します。
- 7 余熱利用設備**  
排ガスもつ熱エネルギーをボイラで回収して蒸気をつくり、次の設備で利用します。
  - 1. 発電設備**  
蒸気の熱エネルギーでタービンを動かし発電します。
  - 2. 温水供給設備**  
蒸気の熱で温水をつくり、余熱利用体験棟に供給します。

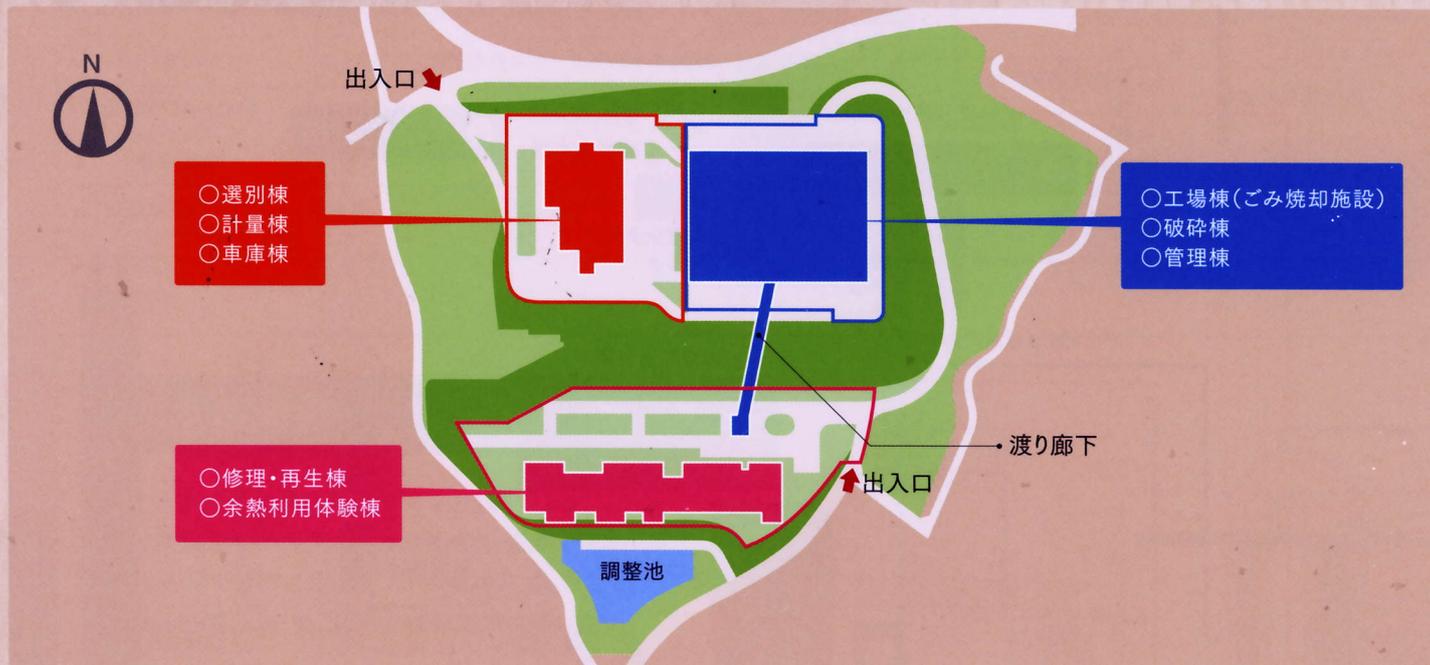


リサイクル等の施設

市民の皆様が直接持ち込む廃棄物を原料として再利用するために、資源ごみは選別棟で選別・保管します。剪定枝は破砕棟で破砕処理し、チップやミンチにして資源化します。まだ使える家具類は修理・再生棟で補修を行い、再利用を推進します。



## 施設配置図



## 工事工程



## 工事概要

- 工事名称：富士市新環境クリーンセンター建設工事
- 工事場所：静岡県富士市大淵地先
- 建設期間：平成29年2月16日から平成32年9月30日まで

## 工事場所位置図



## 発注者

**富士市** 新環境クリーンセンター建設課  
 〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地  
 TEL. 0545-51-0123(代表) FAX. 0545-51-0522

設計施工監理等支援業務

**株式会社 東和テクノロジー**  
TOWA Technology

〒730-0803 広島県広島市中区広瀬北町3番11号 和光広瀬ビル5F  
 TEL. 082-297-8700 FAX. 082-295-3216

## 受注者

川重・石井・井出 特定共同企業体

代表企業

**Kawasaki** 川崎重工業株式会社 東京本社  
 〒105-8315 東京都港区海岸一丁目14-5  
 TEL. 03-3435-2111(代表) FAX. 03-3436-3037

構成員

**株式会社 石井組**
**株式会社 井出組**